



知れば得する “ぎかい” のキホン

第11回

意見書・決議

議会では、意見書や決議という形で、議会の意思を示すことがあります。どんな目的なのか、どう違うのか、見てみましょう。

意見書

町民の皆様からの請願や陳情、あるいは議会の意思を、議会の意見や希望として文章にまとめたものが「意見書」です。

国に提出できる

意見書は、議員発議により採択されるもので、国会や関係行政庁などに提出することができます。（地方自治法第99条）
意見書に法的拘束力はありませんが、議会の総意として尊重されます。

決議

意見書と近いものに、「決議」があります。こちらは、議会の意思を対外的に表明するものです。

意見書と違い、決議に法的な根拠はありません。

議会の意思を表明することで政治的效果を期待する、そのような取り組みとなります。

なお、意見書、決議とともに、私たちの生活に大きく影響するような事項を主に取り扱います。

議決

決議と似た用語に「議決」があります。こちらは、議案などを審議して可否を決定し、議会の意思を決めることを指す言葉です。決議を議決する、という言葉の使い方になります。

白鷹町の事例

直近では「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」（令和4年3月9日）を議決しました。

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

2月24日、ロシアは、世界中の平和を望む切なる願いに反し、ウクライナへの侵略を開始した。さらに現在は、核の力を背景に国際社会の安定を一層脅かしている。

ロシア軍の侵略により多くの人々が住み慣れた地を追われ、避難を余儀なくされている。武力攻撃は居住地にも及び、幼い命が奪われるなど罪のない民間人にも被害が広がっている。

このようなウクライナの主権と領土を侵害する行為は、明らかに国際法、国連憲章に違反している。

また、今般のロシアの行動は、欧州にとどまらず、海を挟んで対面する日本はもとより、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねないもので、断じて看過できない。

よって、白鷹町議会は、ロシアのウクライナへの侵略に対し断固抗議するとともに、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月9日

白鷹町議会

議会の意思の表明

意見書	<ul style="list-style-type: none"> 法的根拠がある 議会の意思を国会などに提出できる
決議	<ul style="list-style-type: none"> 法的根拠がない 議会の意思を表明することで、政治的效果を期待する